

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 22 年度第 1 回臨時理事会 議事録

一. 開催日時：平成 22 年 3 月 27 日（土） 15 時 45 分～18 時 00 分

二. 開催場所：岡山国際交流センター 7 階 多目的ホール

三. 出席者

理事：井関 健、乾 賢一、大石了三、大澤 孝、大森 栄、奥田真弘、
北田光一、谷川原祐介、林 昌洋、樋口 駿、平井みどり、
堀内龍也、宮崎長一郎、望月眞弓、安原真人、山田安彦、
山本康次郎、山本信夫、

監事：内野克喜

陪席者

事務局：松本 とみ恵、星 隆弘

四. 議長：北田 光一（前代表理事）

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨報告された。

六. 議事の経過の要領及びその結果

1. 新任理事の挨拶

本学会の理事として初めて就任する大澤、宮崎、山本（康）各理事より、就任の挨拶が行われた。

1. 協議事項

(1) 平成 22、23 年度代表理事等の選任

平成 22、23 年度代表理事（会頭）の選任について、協議した結果、安原真人理事を新会頭とすることが満場一致で承認された。（ここで、議長が新会頭に交代。）また、副会頭として、鈴木、山田、望月の 3 名の理事を選任することが満場一致で承認された。なお、会頭代行を務める副会頭の順位は、鈴木、山田、望月副会頭の順とすることとなった。

(2) 平成 22、23 年度委員会編成等に関する件

安原会頭より、資料に基づき、各委員会の委員構成に関する説明があり、協議した結果、次の通りとなった。

- ・各委員会委員の構成については、後日、会頭及び副会頭に連絡し、承認を得ること。
- ・学会賞の選考に係る奨励賞・学術貢献賞選考委員会及び論文賞選考委員会の委員の選任については、選考の偏りや透明性を確保する観点から、再任者を極力減じるなど配慮し選考すること。奨励賞・学術貢献賞選考委員会の委員の人選と委員の選出規定を含めた委員会内規の見直しを樋口委員長に一任すること。

- ・ アドバイザー、特別委員のカテゴリーを明確にすること。

(3) 次期委員会活動方針の確認及び諮問事項

安原会頭より、資料(第1回臨時社員総会において承認された事業計画)に基づき、各委員会の活動方針に係る説明があり、意見交換が行われた。

年会企画・開催について、参加者の増加を鑑み、開催候補地の選定、開催期間の延長等を中期的に検討することとなった。また、代議員選挙を翌年に控えるため、選挙制度委員会を1年任期で新設することが了承された。委員編成は山田副会頭を担当副会頭とし、安原、奥田、山本(信)、北田、大森各理事を委員として委嘱することとなった。課題として、代議員の任期が残り1年となるため、選挙方法に係る検討、規定やインフラの整備を行うこと、また報告事項として医療薬学会の事務局長を置くための具体的な検討を行っていることが報告された。

(4) 年間スケジュールについて

今年度開催する定例理事会の日程については、なるべく早い時期に確定し、各理事に周知することとなった。

(5) その他

大石理事及び谷川原理事より、今年度のがん薬物療法海外派遣研修員に対する本学会からの費用負担について、従来は「渡航交通費、保険料、宿泊費、ASCO参加費、研修費用」のみとしていたが、国内移動に係る旅費と、ASCOのVirtual Meetingへの登録・活用も非常に有用なツールの1つであるため、当該オプション代金の補助についても認めていただきたい旨の提案が行われた。協議した結果、満場一致で追加助成をすることが承認された。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は18時00分に閉会を宣言し、解散した。